

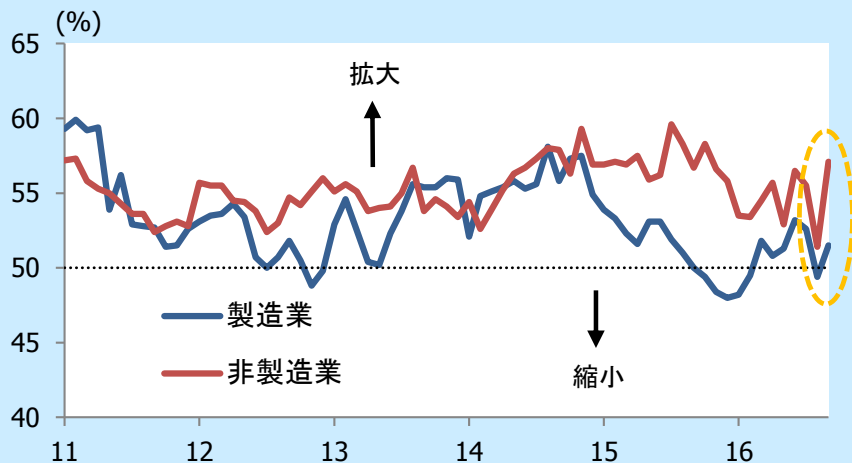
米国：ISM景況指数（2016年9月）

—企業活動は拡大傾向を維持—

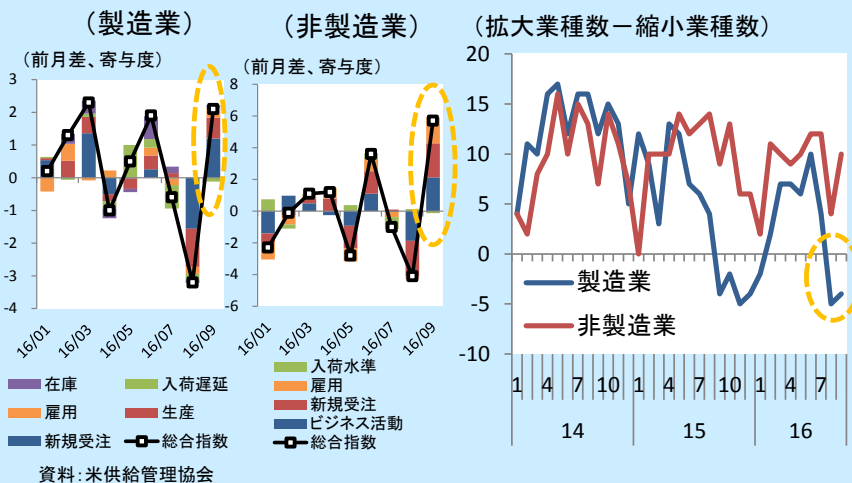
MRI Daily Economic Points

October 6, 2016

図表1 総合指数



図表2 前月差の寄与度分解 図表3 拡大・縮小業種数



評価ポイント

今回の結果

- 9月のISM製造業景況指数(総合、10/3日公表)は、51.5と前月(49.4)から上昇。前月は6ヶ月ぶりに拡大・縮小の分岐点である50を下回ったが、9月は再び50を上回った。
- 項目別にみると、前月大幅に低下した新規受注(55.1)、生産(52.8)の反動増が、全体を押し上げた(図表2)。ドル高進行の一服による輸出の持ち直しが製造業の景況感を下支えている。一方、雇用(49.7)は幾分上昇したものの、16年以降、6月を除くすべての月で50を下回っている。業種別でも、50を上回って活動が拡大した業種は18業種のうち7業種にとどまり(前月6業種)、幅広い業種で50を下回った状態が続いている。
- 9月のISM非製造業景況指数(総合、10/5日公表)は、57.1と前月(51.4)から大幅に上昇。2015年10月以来の高水準となった。
- 項目別にみると、前月大幅に低下したビジネス活動(60.3)、新規受注(60)が2ヶ月前の水準まで上昇し、全体を押し上げた。また、16年入り後は50付近で推移していた雇用(57.2)が大幅に上昇。業種別では、50を上回った業種は14業種と前月(11業種)から増加した。

基調判断と今後の流れ

- 製造業、非製造業ともに、9月は大幅に低下した前月の反動もあって景況感が上昇。特に非製造業は、内需の堅調さを背景に底堅く推移している。一方、製造業では、多くの業種で景況感が50を下回っている(図表3)。
- 先行きも、堅調な内需に支えられ、非製造業を中心に企業活動の拡大基調は維持すると予想する。
- もっとも、雇用に占める製造業の割合は約8%と小さいとはいえ、製造業の企業活動鈍化が卸売業や運輸業など非製造業の企業活動にも悪影響を与える可能性がある。また、大統領選前後で不確実性が高まる場合、企業活動の下押し圧力となる点には注意が必要だ。